

ミシガン州での運転事情

当たり前ですが、アメリカの自動車は左ハンドルで、車線は右側走行です。口で言うのは簡単ですが、慣れないとびっくりすることがあります。ミシガンに来て、まだ日が浅い間は、「道路の右側を走るんだ」と自分に言い聞かせて運転していましたが、広い道から、左折して、脇の単線道路に進入しようとしたら、実はその道は路側帯のある道路で、単線道路と思った道は左側車線で、その路側帯の向こう側に右側車線があることに気付かなかったこともありました。

日本にはないルールもあります。自動車の運転ですから基本的なところは同じですが、特に違うのが、右折する際に、信号が赤でも「左から自動車が接近していなければ右折できる」ことです。運転中に、このルールを忘れて、後続車からクラクションを鳴らされ、「ん？ あっ、右折できたんだ」と急いで右折したこともありました。（もちろん、左からの車輦は確認しています。）

ミシガンは自然が豊かで、野生動物が多くいます。そうした動物と車輦の接触もあります。小動物ではなく、大きな鹿が道路に飛び出してきて、車両と接触することもあるそうです。滋賀県でも夜、道端の水田で、両目をきらっと光らせている鹿を見たりすることがありますが、ハイウェイに鹿が飛び出してきて、激突すると車輦にも大きく破損します。現地の人に聞くと、特に10月には多くなるから気を付けないといけないとのことでした。しかし、高速道路で鹿にでくわすとは想像したくありません。

スカンクにも注意が必要だそうです。スカンクと接触すると、車を廃車にしないと聞きました。スカンクってそんなに大きかったかな、どんなダメージを車を受けるのかと思ったら、その臭いがきつくて、その後、車を使用できないのだそうです。

州内道路を走行していて、こんな機械を見かけました。制限速度が時速 55 マイルの道です。単に車輦スピードを運転手に示して、スピードを落とすように促すだけでなく、実際に写真を撮って、後に違反切符が送られてくると地元の方に聞きました。ですが、アメリカの車はナンバープレートが後ろにしかついていません。スピードを計測する機械は前から来る車輦に対して、そのスピードをドライバーに示しています。写真を撮るとしても運転手と車種ですが、車両番号の確認をせずに車輦と運転手をどうやって、特定するのでしょうか？もしかして、背面にカメラが搭載されているのでしょうか。

